



担当教授 高澤祐治

研究

主な研究テーマ

- 1. スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害予防
- 2. コンディショニング
- 3. スポーツとアンチ・ドーピング

スタッフ

教授	高澤祐治
先任教授	
准教授	窪田敦之、長尾雅史
講師	室伏由佳
助教	西尾啓史

主な研究内容

順天堂大学大学院スポーツ医学研究室では、スポーツ整形外科を専門とする医師、スポーツ医科学を専門とする研究者、理学療法士、アスレティックトレーナーなどの非常勤スタッフ、大学院生、指導者などが中心となり、スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害の疫学調査、予防、競技復帰後のパフォーマンス向上に向けた取り組みなど、複合的な視点から研究を行っている。

また、最新の筋力測定器やMRI装置、超音波装置を使用して、筋力や筋硬度を中心にコンディショニングについての検証を行なっている。主に、投手を対象に投球パフォーマンス向上と肩・肘の障害予防を目的とした研究を行ない、プロ野球チームとも共同して取り組んでいる。他には、ハムストリングや大腿直筋を対象に、肉離れ予防を目的とした研究にも着手している。

さらに、スポーツ・インテグリティを脅かす要因の一つであるドーピングをテーマに、アンチ・ドーピング教育の推進を促進するための調査研究を進めている。アスリートのアンチ・ドーピング知識状況や、禁止物質・禁止方法に対する認識や行動について基礎研究を進め、意図的／意図しないいずれのドーピングのピットフォールに陥らないための方策を打ち出している。





Chief Professor Yuji Takazawa

Research

Main Research Subjects

- 1. Prevention for sports injury
(Pre-hospital care support)
- 2. Conditioning
- 3. Sports and anti-doping

Members

Professor	Yuji Takazawa
Senior Associate Professor	
Associate Professor	Atsushi Kubota, Masashi Nagao
Lecturer	Yuka Murofushi
Assistant Professor	Hirohumi Nishio

2020年9月1日現在

Research Highlights

Our team at the department of sports medicine consists of members who specialize various aspects of sports medicine. Investigators, physiotherapists, athletic trainers, graduated students, coaches, part-time staffs are cooperatively working on the projects. Especially we are focusing on epidemiology, strategy for preventing sports injuries, how to improve performance after return to play.

In addition, we are conducting a study on conditioning using the recent instruments such as ultrasound, MRI and muscle strength dynamometer to verify muscle strength and tissue hardness. We are focusing on throwing performance enhancement for baseball pitchers with cooperation from the professional baseball team players. Other research topics are prevention of muscle strain of the hamstring and rectus femoris muscles.

Also, we are conducting research to promote anti-doping education on doping as a threat to sports integrity. We are conducting basic research on the status of athletes' anti-doping knowledge, their perceptions and behaviors towards prohibited substances and methods, and developing measures to prevent them from falling into a pitfall of intentional or unintentional doping.



2019年（平成31・令和元年） 研究業績

講座名： スポーツ医学

所属長： 高澤祐治

区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文原著	1		Yagishita K, Enomoto M, Takazawa Y, Fukuda J, Koga H.	Effects of hyperbaric oxygen therapy on recovery acceleration in Japanese professional or semi-professional rugby players with grade 2 medial collateral ligament injury of the knee: A comparative non-randomized study.	Undersea Hyperb Med, 2019; 46(5): 647-654.	
英文原著	2		Huang H, Nagao M, Arita H, Shiozawa J, Nishio H, Kobayashi Y, Kaneko H, Nagayama M, Saita Y, Ishijima M, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K.	Reproducibility, responsiveness and validation of the Tampa Scale for Kinesiophobia in patients with ACL injuries.	Health Qual Life Outcomes, 2019; 17(1): 150.	
英文原著	3		Hada S, Seto H, Kaketa T, Nagayama M, Kawasaki T, Takazawa Y, Tomita Y, Kaneko K.	Accelerated Return to Play for Professional Rugby Players After Facial Fractures.	J Craniofac Surg, 2019; 30(4):1121-1124.	
英文原著	4		Saita Y, Schoenhuber H, Thiébat G, Ravasio G, Pozzoni R, Panzeri A, Galli M, Nagao M, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K.	Knee hyperextension and a small lateral condyle are associated with greater quantified antero-lateral rotatory instability in the patients with a complete anterior cruciate ligament (ACL) rupture.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 2019; 27(3): 868-874.	
英文原著	5		Sadatsuki R, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Futami I, Hada S, Kinoshita M, Kubota M, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Okada Y, Kaneko K.	Bone marrow lesion is associated with disability for activities of daily living in patients with early stage knee osteoarthritis.	J Bone Miner Metab, 2019; 37(3): 529-536.	

区分	番号		発表者名	発表タイトル (題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Hada S, Ishijuma M, Kaneko H, Lizu L, Arita H, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Nishiura T, Okada Y, Kaneko K.	The degeneration of medial meniscus in meniscal body and posterior horn shows a greater change than that in anterior horn according to the severity of medial meniscus extrusion in early- to primary-stage knee osteoarthritis.	Osteoarthritis and Cartilage, Tronto, 2019年5月2日	
区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
和文原著	1		瀬戸宏明, 羽田晋之介, 二見一平, 高澤祐治, 金子和夫.	カテゴリーの違いによるラグビー選手の顔面骨折の復帰時期の検討.	JOSKAS, 2019, 44巻2号: 562-563.	
区分	番号		発表者名	発表タイトル (題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		西尾啓史, 齋田良知, 内野小百合, 福里 晋, 若山貴則, 小林洋平, 高澤祐治, 池田 浩, 金子和夫.	難治性膝蓋腱炎に対する多血小板血漿(PRP)療法の効果と超音波検査での重症度分類の関連性.	第92回日本整形外科学会学術総会, 横浜, 2019年5月11日.	
国内学会発表	2		羽田晋之介, 石島旨章, 金子晴香, 青木孝子, 有田均, 高澤祐治, 池田 浩, 西浦高志, 岡田保典, 金子和夫.	初期変形性膝関節症における内側半月板の変性は前節より中節と後節が先行する.	第92回日本整形外科学会学術総会, 横浜, 2019年5月11日.	
国内学会発表	3		高澤祐治, 高森草平, 田島卓也, 山田睦雄, 中村明彦.	ラグビーワールドカップ2019のメディカルサポート ラグビーワールドカップ2019 ホスト国としての準備.	第92回日本整形外科学会学術総会, 横浜, 2019年5月10日.	
国内学会発表	4		河野佑二, 水野 満, 小田遼浩二, 大関信武, 片野尚子, 古賀英之, 辻 邦和, 金子晴香, 高澤祐治, 大川 淳, 関矢一郎.	関節リウマチ膝での滑膜由来幹細胞と関節液由来幹細胞との軟骨分化能の比較.	第92回日本整形外科学会学術総会, 横浜, 2019年5月10日.	
国内学会発表	5		小林洋平, 小林慶司, 若山貴則, 長尾雅史, 齋田良知, 高澤祐治, 池田 浩, 根本昌幸, 金子和夫.	膝内側側副靭帯損傷にMeniscocapsular separationを合併し鏡視下縫合術を行ったサッカー選手の2症例.	第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2019年6月13日.	

国内学会発表	6	石島旨章, 金子晴香, 劉 立足, 有田 均, 根岸義文, 百枝雅裕, 羽田晋之介, 高澤祐治, 齋田良知, 池田 浩, 金子和夫.	変形性膝関節症に伴う内側半月板逸脱は骨棘切除により改善する<第2報>.	第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2019年6月13日.	
国内学会発表	7	有田 均, 金子晴香, 石島旨章, 羽田晋之介, 劉 立足, 百枝雅裕, 根岸義文, 高澤祐治, 池田 浩, 金子和夫.	変形性膝関節症患者の歩行速度と関連するMRIで検出する病態は内側半月板逸脱である.	第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2019年6月14日.	
国内学会発表	8	百枝雅裕, 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 有田 均, 齋田良知, 高澤祐治, 池田 浩, 金子和夫.	初期変形性膝関節症の骨棘形成障害とビタミンD充足状態との関連.	第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2019年6月13日.	
国内学会発表	9	金子晴香, 石島旨章, 有田 均, 劉 立足, 根岸義文, 百枝雅裕, 齋田良知, 高澤祐治, 池田 浩, 金子和夫.	末期変形性膝関節症のビタミンD充足状態と脛骨近位関節面傾斜角の関連.	第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2019年6月14日.	
国内学会発表	10	永山正隆, 小川秀治, 鈴木伸行, 塩田有規, 高澤祐治.	整形外科領域の多様なLLLLT-ラグビー現場と臨床-社会人ラグビーチームでのLLLLTの使用経験.	第31回日本レーザー治療学会, 東京, 2019年6月22日.	
国内学会発表	11	高澤祐治.	ラグビーワールドカップ2019 勝利の方程式～選手、トレーナー、ドクターの立場から～ ホスト国として提供する医療サービス.	第45回日本整形外科スポーツ医学会, 大阪, 2019年8月29日.	
国内学会発表	12	岸本康平, 平野清孝, 酒井大輔, 黒川 純, 石谷勇人, 木元正史, 袖山知典, 窪田敦之, 高澤祐治.	ロコモ度テストにおけるロコモ25の質問項目とロコモ度の関連性および回帰モデルの構築の検討.	第45回日本整形外科スポーツ医学会, 大阪, 2019年8月30日.	
国内学会発表	13	池田 隼, 宮森隆行, 島崎 佑, 高澤祐治, 吉村雅文.	体幹装着型機器が脊柱アライメントおよびジャンプパフォーマンスに与える影響.	日本体育学会第70回大会, 神奈川, 2019年9月11日.	
国内学会発表	14	石島旨章, 金子晴香, 有田 均, 根岸義文, 百枝雅裕, 青木孝子, 劉 立足, 黄 輝, 塩澤 淳, アルパティ・アディリ, 長尾雅史, 永山正隆, 齋田良知, 高澤祐治, 池田 浩, 田村好史, 綿田裕孝, 河盛隆造, 岡田保典, 金子和夫.	変形性関節症&ロコモ 高齢者のロコモに影響を与える変形性膝関節症の病態.	第37回日本骨代謝学会, 神戸, 2019年10月13日.	
国内学会発表	15	河野佑二, 水野満, 小田邊浩二, 大関信武, 片野尚子, 古賀英之, 辻 邦和, 金子晴香, 高澤祐治, 大川 淳, 関矢一郎.	関節リウマチ膝での滑膜由来幹細胞と関節液由来幹細胞との軟骨分化能の比較.	第34回日本整形外科学会基礎学術集会, 神奈川, 2019年10月17日.	

国内学会発表	16	井上美佳, 窪田敦之, 高澤祐治, 岸本康平, 西尾啓史, 桜庭景植.	大腿直筋および中間広筋内の各部位における筋硬度と膝関節伸展筋筋力の関係.	第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月16日.	
国内学会発表	17	水上朱音, 窪田敦之, 高澤祐治, 岸本康平, 西尾啓史, 桜庭景植.	大学野球競技者における肩甲骨位置と肩関節内外旋可動域の関係.	第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月16日.	
国内学会発表	18	室伏由佳, 川田裕次郎, 高澤祐治, 広沢正孝, 柴田展人.	日本人大学生アスリートと一般大学生におけるアンチ・ドーピング知識の実態: 横断的研究.	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	19	高柳智穂, 窪田敦之, 高澤祐治, 岸本康平, 西尾啓史, 桜庭景植.	大学硬式野球部に所属する投手の肩関節周囲筋の筋硬度変化と投球数との関係について.	第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	20	高澤祐治, 山田睦雄, 田島卓也, 屋拓朗, 佐藤晴彦, 東原潤一郎, 外山幸正, 中村明彦.	2019ラグビーワールドカップの経験から.	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	21	高澤祐治.	スポーツ現場におけるドクターの役割.	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	22	塩田有規, 高澤祐治, 永山正隆, 若井正樹, 西原俊一, 小川秀治, 鈴木伸行	同一ラグビーチーム内に発生したScrum Pox感染症の経験	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	23	宮森隆行, 今川正浩, 島崎 佑, 高澤祐治, 吉村雅文	サッカー指導者に対する第五中足骨疲労骨折の認知度調査	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
国内学会発表	24	池田 隼, 宮森隆行, 勝平順司, 島崎 佑, 今川正浩, 高澤祐治, 吉村雅文.	体幹装着型機器が脊柱アライメントおよびジャンプパフォーマンスに与える影響.	第30回臨床スポーツ医学会学術集会, 神奈川, 2019年11月17日.	
区分	番号	講演者名	講演タイトル	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	Yuji Takazawa.	Pre-Hospital Care in Sports~What is Global Standard?~.	20Th JATO Athletic Trainer's Symposium 2019, Tokyo, 2019年3月3日.	
特別講演・招待講演	2	高澤祐治.	ラグビーワールドカップ2019・東京五輪2020のメディカルサポート.	第10回スポーツメディスンフォーラム, 大阪, 2019年3月4日.	

特別講演・招待講演	3	高澤祐治.	ラグビー外傷・障害のあれこれ～下肢疾患を中心に～.	第8回長州スポーツ整形塾, 山口, 2019年3月21日.	
特別講演・招待講演	4	高澤祐治.	スポーツ現場における医療のグローバルスタンダード～何をすべきか、何ができるか～.	第9回テニス医学研究会, 横浜, 2019年3月23日.	
特別講演・招待講演	5	高澤祐治.	ラグビーワールドカップにおけるメディカルサポート（疼痛対策も含めて）～4年に一度じゃない、一生に一度だ～.	第28回順天堂整形外科臨床医会, 東京, 2019年6月1日.	
特別講演・招待講演	6	高澤祐治.	スポーツ現場におけるプレホスピタルケア～RWC2019, Tokyo2020を控えて～.	第29回関西臨床スポーツ医・科学研究会ランチョンセミナー, 大阪, 2019年6月8日.	
特別講演・招待講演	7	高澤祐治.	スポーツ現場におけるプレホスピタルケア～国際スポーツイベントを控えて世界から求められること～.	第116回東北整形災害外科学会ランチョンセミナー, 盛岡, 2019年6月22日.	
特別講演・招待講演	8	高澤祐治.	ラグビーワールドカップ2019を控えて～スポーツ現場における外傷へのマネジメント～.	第52回慶應スポーツ医・科学研究会, 東京, 2019年6月25日.	
特別講演・招待講演	9	高澤祐治.	スポーツ外傷・障害に対する現場での対応～グローバルスタンダードとは～.	第20回 金沢スポーツ整形イブニングセミナー, 金沢, 2019年8月8日.	
特別講演・招待講演	10	高澤祐治.	ラグビーワールドカップ2019から東京オリンピック・パラリンピック2020へ～スポーツ現場における医療の最前線～.	2019年度順風会総会, 甲府, 2019年11月9日.	
特別講演・招待講演	11	高澤祐治.	スポーツ現場における外傷・障害への対応～RWC2019 から Tokyo2020 へ～』.	第8回港区医師会整形外科医会学術集会, 東京, 2019年11月27日.	
区分	番号	発明者名	発明の名称	出願番号	国際共同
知的財産権の出願・取得等	1	川崎隆之, 高澤祐治.	ラグビー競技における頭頸部外傷予防の取り組み.	科学研究費補助金, 基盤研究(C)19K11498, 3年, 4,030,000円 (2019年度: 3,770,000).	
知的財産権の出願・取得等	2	室伏由佳, 高澤祐治, 柴田展人, 川田裕次郎.	大学生アスリートにおけるアンチ・ドーピングに対する学習意欲と知識の実態把握.	順天堂大学スポーツ健康科学部学内共同研究費 (学内共同研究), 1年, 250,000円 (2019.6～2020.3).	